

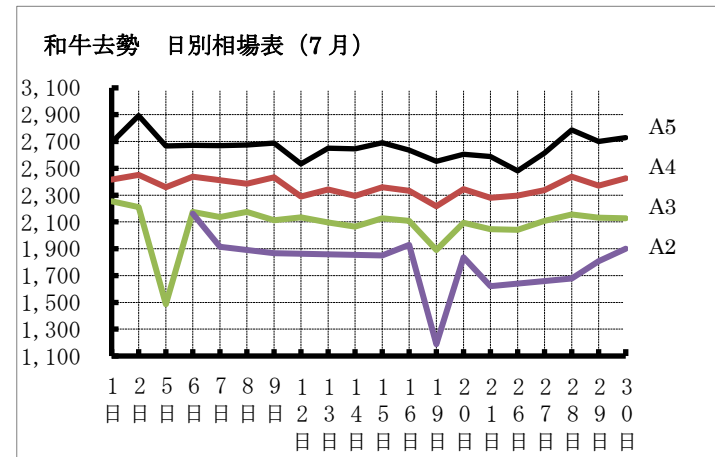
# 月刊 しばうら

## 2021年8月号

### 牛肉営業部

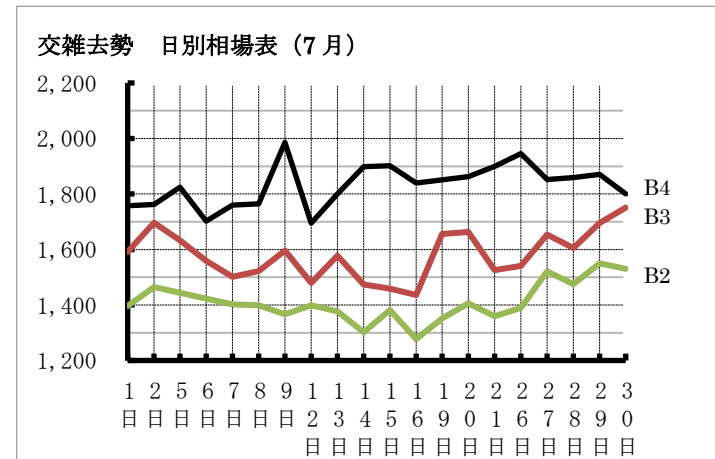
#### <7月の相場動向>

7都道府県に発出された7月11日までのまん延防止等重点措置の解除が期待されていたが、感染の急拡大により東京都と沖縄県に緊急事態宣言が発出された。5道府県では一時的にまん延防止等重点措置は解除となっていたが、7月25日あたりからのかつてない感染者数の急増による先行き不安もあってか、和牛については盆需要に向けた手当買いも盛り上がり小さく、月平均では上旬の落ち込み分をカバーできず、A5を除いて前月比で100%を割る結果となった。また量販店や小売りで需要の高い交雑種の4・3等級は、前月比をやや上回る推移となった。



#### 和牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
A5	2,684円	+271円	111.2%	+8円	100.3%
A4	2,369円	+328円	116.1%	-30円	98.7%
A3	2,120円	+276円	115.0%	-33円	98.5%
A2	1,795円	+225円	114.3%	-130円	93.2%



#### 交雑去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
B4	1,812円	+301円	119.9%	+38円	102.1%
B3	1,590円	+258円	119.4%	+12円	100.8%
B2	1,397円	+256円	122.4%	-28円	98.0%

### 乳牛去勢 (月平均)

	加重平均	前年同月比		前月比	
B3	上場なし	-	-	-	-
B2	1,075円	+155円	116.8%	-12円	98.9%

#### <8月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績によると、6月の輸入量は前年同月比3.0%増の5万2,244tで、うちチルドは16.3%増の2万3,832tと大きく上回った。冷蔵品については前年に北米現地工場の稼働停止の影響で少なかった反動によるものとみられる。フローゼンは、現地の出荷減や相場高から豪州、米国とも減少し、前年同月比6.0%減の2万8,412tとなった。

農畜産業振興機構によると7月の牛肉輸入数量は、前年同月比6.7%減の4万9,100tで予測している。チルドでは北米工場の作業効率の低下による影響や現地価格の高騰が影響し、前年同月を下回るとみられる。

輸入牛肉通関量		6月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	8,814	9,895	89.1%
	米国	12,277	9,002	136.4%
	その他	2,741	1,587	172.7%
	合計	23,832	20,484	116.3%
フローゼン	豪州	12,382	13,613	91.0%
	米国	7,686	10,669	72.0%
	その他	8,344	5,954	140.1%
	合計	28,412	30,236	94.0%

出典：食肉速報

単位：t

#### <8月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による8月の出荷予測頭数は、全体で前年比103.8%の8万4,600頭で、品種別にみると和牛は3.5%増の3万6,900頭、交雑種は3.3%増の1万8,400頭、乳用種は4.0%増の2万7,700頭と予測している。

東京食肉市場の8月のと畜頭数は6,520頭を予定しています。

#### <8月の牛枝肉相場見通し>

現状の6都府県の緊急事態宣言および5道府県のまん延防止等重点措置に加えて、さらに8県でまん延防止等重点措置が発出され、営業時間の制限や酒類の提供の制限の延長により、外食需要の回復への見通しが立たない状態になっている。輸出は一部の国と地域では新型コロナウイルスの感染拡大により勢いを失っているものの、全体では好調であり、中華系の中秋節に向けての引き合いが旺盛であるため、和牛の相場はもちあいの展開が予想される。量販店で引き合いの強い交雑種や乳牛去勢は、米国産や豪州産の高価格が継続していることから品揃えとして価格は維持するものと考えられる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,500~2,600	B4	1,700~1,800
A4	2,300~2,400	B3	1,550~1,650
A3	2,150~2,250	B2	1,400~1,500
A2	2,000~2,050		
乳牛去勢			
B3	1,100~1,150		
B2	1,000~1,050		

### 豚肉営業部

6月の全国と畜頭数は、前年同月比1.7%増の134万6,157頭。また6月の豚肉通関数量は7万5,312t（前年同月比5.4%減）と前年同月を下回ったが前月比5.7%の増加。内訳はチルドが3万5,620t（同11.2%増）と増加し、フローゼンは3万9,692t（同16.5%減）となった。

2020-2021年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
6	72,535	79,522	23,208	211,865	70,031	82,541
7	73,967	75,011	21,378	204,074	75,708	82,802
8	68,179	68,431	20,340	200,507	69,117	71,998
9	71,876	65,416	19,685	193,386	72,409	72,537
10	80,156	72,415	19,333	184,855	80,388	80,946
11	79,406	70,497	19,411	175,578	79,178	79,774
12	82,555	71,474	20,414	167,897	81,364	79,155
1	78,800	66,620	22,433	160,131	76,657	74,386
2	73,648	64,209	22,875	161,399	73,069	62,941
3	83,976	68,957	24,104	157,880	82,627	72,476
4	80,131	98,642	25,593	159,043	78,537	97,479
5	72,872	71,194	25,852	159,623	72,522	70,614
6	73,971	75,228	25,290	162,439	74,393	72,412
比	102%	94%	109%	76%	106%	87%

出典：農畜産業振興機構 比：最終月の前年同期比 単位：t

6月豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	18,749	128.6%	デンマーク	5,342	86.7%
カナダ	15,197	96.6%	スペイン	8,938	73.4%
メキシコ	1,673	98.1%	メキシコ	8,743	94.7%
			アメリカ	4,652	105.8%
			カナダ	2,978	90.1%
合計	35,620	111.2%		39,692	83.5%

単位：t

#### <7月の豚取引の推移>

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	60,600	635	612	451
2日	58,100	636	611	634
5日	60,800	673	643	510
6日	68,000	671	661	804
7日	41,700	677	658	580
8日	64,200	666	642	610
9日	61,800	648	611	785
平均	59,314/日			625/日

全国と畜頭数は6万頭を割り込む日もみられ、例年同様、出荷頭数が減少するなか、月初の手当などもあり上物価格が600円を上回る展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
12日	59,600	651	631	670
13日	65,100	627	601	851
14日	63,600	634	588	630
15日	62,800	626	578	714
16日	59,800	611	585	824
19日	64,100	595	557	754
20日	70,900	592	549	1,006
平均	63,700/日			778/日

引き続き出荷頭数は伸びず、関東近郊でも豚熱(CSF)の影響も一部では見られた。

相場は19日には上物595円となり上中格差も開く展開となったが、輸入物の供給量が不安定な状況もあり、値動きは堅調な状況となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21日	68,400	600	524	935
22日	-	618	556	894
27日	65,100	639	613	741
28日	61,700	646	602	713
29日	64,200	671	640	632
30日	62,000	659	652	681
平均	64,280/日			766/日

東京では新型コロナウイルスの感染者数が日を追うごとに増加していった。4度目の緊急事態宣言が発令される中ではあるが、オリンピックによる4連休明けで補充買いもみられ相場は上昇傾向となった。

#### <8月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による8月の肉豚出荷予測では127万5,000頭（前年比100%）と予測している。

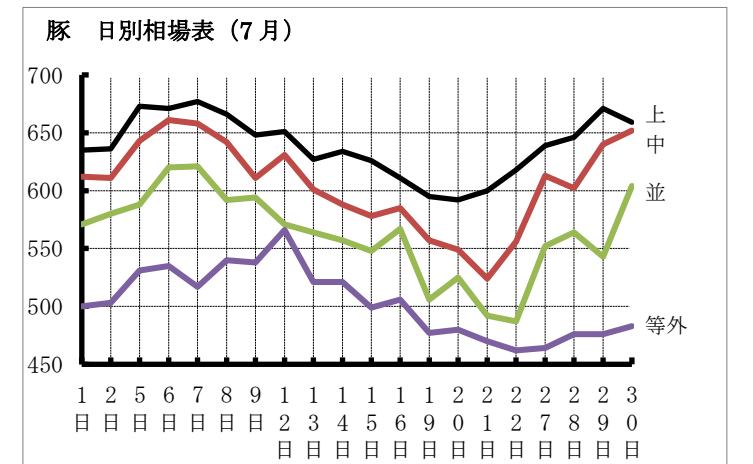
当市場の8月集荷予定頭数は1万4,500頭、1日あたりでは約725頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると8月分の豚肉輸入見込数量は、総量で6万8,600t（同100.0%）、内訳は冷蔵輸入量が3万1,500t（同100.7%）、冷凍輸入量は3万7,100t（同99.8%）と予測。

冷蔵品輸入量は、前年同月の輸入量が少なかったことから前年同月はわずかに上回ると予測する。また3ヵ月平均は前年同期と同水準となると予測する。冷凍品輸入量は前年同月並みとなると予測する。なお3ヵ月平均では前年同期を大幅に下回ると予測する。

例年、8月は盆休みにかけて都市部では需要が伸び悩む時期ではあるが、今年は緊急事態宣言発出による帰省・外出控えから、内食需要が堅調に推移することが予想される。また供給面では今後も全国的な猛暑による増体悪化が出荷頭数に影響がでることが懸念され、出荷頭数と末端消費のバランスによって相場が推移することが予想される。

以上のことから当市場の上物平均価格は580円前後、中物平均価格560円前後の展開と予測する。



**東京都港区港南2-7-19**  
**東京食肉市場株式会社**  
**TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127**